令和７年度　大津島地区コミュニティ推進協議会　事業計画書（案）

１．基本方針

大津島地区の人口減少・高齢化が進む中、各団体と連携してお互いに助け合い、心豊かに暮らせるふるさとづくりを目指す。

２．事業計画と内容

項　　目	内　　容
① 生活環境の改善	航路、島内交通改善など環境整備を促進するとともに、主要幹線道路の維持管理を行う。
② 人口減少の抑制	若潮の会と協力して地域での奉仕作業を実施し、景観や居住環境の維持に努める。
③ UJIターンの促進	東京会場でのUJIターン促進イベント「アイランダー2025」へ参加し、島をPRすることで移住希望者に周知する。
④ 生活支援サービス事業の推進	島の困りごとに対応する生活支援サービスセンター「しまさぽ」の運営を後方支援する。しまさぽの事業収入から、出張理美容サービスの立ち上げを支援する。
⑤ 福祉対策の充実	超高齢化地区であることを踏まえ、みんなで助け合い、安心して暮らせる福祉の風土づくりと施設の整備を図る。 「道の駅ソレーネ周南」と連携し、買い物支援事業を継続する。
⑥ 健康安全の推進	交通安全や食の安全対策の推進と、島内イベントを検討するなど地域振興を図る。
⑦ 広報活動の推進	コミュニティ紙「潮流」等を発行することにより、島内外において島の情報と課題を共有する。
⑧ 交流活動の推進	周南市公立大学、山口大学など来島機会のある大学生と連携した「域学連携事業」「情報発信」で、島の魅力を発信する。
⑨ 関係人口の強化	今後の地域の担い手として、島の応援者（学生、島外在住者等）を呼び込み、在住者と共に地域づくりのできる環境を構築する。 すだいだい収穫など大津島ならではのイベントを企画し、島と行き来する機会を設ける。
⑩ 観光資源の保全や運営	回天関連施設、ガマ群生地、十人墓、大坂城築城の残石等の歴史文化遺産や、自然・風致などの観光資源の保全管理に努める。
⑪ 離島新産業の推進	大津島の特色を活かした、産物の維持と開発を進める。
⑫ 環境の保全・再生	人と環境に優しい地域を目指し、花壇の整備等を推進する。
⑬ 自主防災組織の育成・強化	消防団と連携した自主防災活動を充実させ、安心・安全に暮らすことのできる地域づくりを推進する。
⑭ 記録の管理活用・伝承	過去から現在までの“島のあゆみ”を、記録として収集・整理・管理し、適正に活用・伝承できる仕組みを検討する。